

# 校長室から

令和2年1月15日

## 令和2年 始動しました

### 保護者の皆様にお伝えしたいこと

令和2年となり、学校生活も再開され、1週間が経過しました。生徒達が今まで同様、学校生活にしっかり取り組んでいる事に大きな喜びを感じます。

本日は、私立高等学校と国立高等専門学校の推薦入試が行われています。雪模様の天候でしたが、今までの成果を発揮して、笑顔で戻ってきてほしいと思います。

今後は、私立高等学校の一般入試、そして3月には制度改革後初めての公立高等学校入試が行われます。3年生全員が自分の力が発揮できて、悔いのないよう卒業の日を迎えられる事を心から祈ります。

さて、冬休みが終わり、生徒達も少しずつ生活のリズムを取り戻しています。現在のところ、本校はインフルエンザも小康状態です。長町中学校では、生徒達の生活習慣がしっかりとされていて、ご家庭でも注意を払っていただいている事によって、今のところ学級、学年閉鎖もない状態です。是非、このまま乗り切してほしいと思います。

冬休み明けの集会では、3学年ともにけじめのある態度で臨み、4名の代表生徒の決意表明に静かに耳を傾けている姿が印象的でした。このように集会に臨む態度は、長町中学校では当たり前のようになっていますが、集会に臨むときの体育館への入場も無言で静かに移動します。校長室にいと、いつ通り過ぎていったのか分からないほど静かに移動しています。そして、大人数の生徒達がわずかな時間で、自分の席に着きます。校長室に尋ねてくるお客様は、「静かで、移動しているのが分からないくらいですね。」といつも感心しています。そして、上級生も下級生も同じように、きちんとした態度で人の話を聞き、表彰を受ける生徒達に拍手を送ります。また、生徒主体の体育祭等に向けての集会では、全体が大きく盛り上がります。静粛な場面、盛り上がる場面等のけじめがしっかりできる事が本校の生徒達の素晴らしさの一つです。今年度の防災講話のゲストティーチャーとして講話をしていただいた先生は「このような素晴らしき態度は、何か緊急事態が発生した時に必ず役立ちます。」とお褒めいただきました。

生徒達と接すると、素晴らしき場面に遭遇します。先日、私が1階の校舎間の渡り廊下を歩いていると、3年生の女子生徒が「校長先生、お先にどうぞ」とドアを開けてくれて、私が通るまで待っていてくれました。その行為と明るい笑顔がとても印象に残り、とても嬉しく感じました。何気ない行為のようですが、なかなか出来ない事だと思います。本人の性格もあると思いますし、ご家庭で培ってきた生活習慣や教えもあると思います。昨日は、生徒数名が、「校長先生、今日は暖かいですね。」と話しかけてくれました。「おはようございます。さようなら」等のあいさつだけではなく、このような一言がとても嬉しく感じます。

先日、校長室に訪ねてきた他校の校長先生が正面玄関に掲示していた「謹賀新年」の書を見て、「これいいなあ。生徒の作品？」と感心していました。私も書道部の生徒の作品をととても嬉しく思っていましたので、やはり同じように感じるのだなあと思い、生徒達の作品を誇らしく感じました。

学校生活を生徒達と一緒に過ごしていると、本当は素晴らしい事、感心する事、褒めてあげたい事、誇らしいことが多くあるはずなのに、何気なくとおろそぎになってしまう事があります。

令和2年は、彼らの良き姿をさらに意識して、認め、褒め、声掛けしていきたいと思っています。新しい年が長町中学校の生徒達にとってよき年となるように、力を尽くしていきたいと思っています。